

知的財産戦略専門調査会の今後の進め方

平成 14 年 2 月 28 日

1. 検討課題

- (1) 国の研究開発投資に対応した知的財産の創出と確保
我が国の知的財産の確保を目指した研究開発の在り方
(パイドール条項など研究開発制度上の知的財産の取扱い等)
知的財産を重視した大学等の研究開発システム改革
(知的財産の機関帰属、適正な管理、権利化の促進等)
- (2) 先端技術分野における知的財産の保護と活用
先端技術に関する知的財産の戦略的な保護
(国際比較も踏まえた特に保護すべき分野・領域の明確化等)
ライフサイエンス・IT 等分野別の課題への対応
〔
ライフサイエンス: 遺伝子、タンパク質や新たな医療技術・医薬品の特許等、
IT: IT を活用した新技術の保護、ネットワーク上の知的財産の保護と流通等
〕
- (3) 知的財産の創出・確保・活用のための基盤整備
知的財産保護の拡充・強化
(職務発明制度の在り方、営業秘密の保護強化等)
知的財産に関わる人材養成
(専門人材の育成、知的財産教育の充実等)
知的財産に関する国際戦略
(制度の国際的調和、海外での権利取得促進等)

2. スケジュール

- 3 月～4 月 国の研究開発投資に対応した知的財産の創出と確保について
(研究資金提供機関、研究機関等ヒアリングと審議)
- 4 月～5 月 先端技術分野における知的財産、知的財産の基盤整備について
(有識者ヒアリングと審議)
- 6 月目途 審議 中間まとめ
(本会議で中間まとめ案を議論)
- 本年中に最終まとめ
(知的財産戦略会議と連携し検討)

知的財産戦略専門調査会名簿

平成14年2月28日

| | | |
|----|-------|------------|
| 会長 | 井村 裕夫 | 総合科学技術会議議員 |
| | 桑原 洋 | 同 |
| | 吉川 弘之 | 同 |
| | 吉野 浩行 | 同 |

(専門委員)

| | |
|-------|----------------------------------|
| 相澤 英孝 | 早稲田大学教授 |
| 秋草 直之 | 富士通株式会社代表取締役社長 |
| 荒井 寿光 | 日本貿易保険理事長 |
| 新井 賢一 | 東京大学医科学研究所所長 |
| 浮川 和宣 | 株式会社ジャストシステム代表取締役社長 |
| 江頭 邦雄 | 味の素株式会社取締役社長 |
| 江崎 正啓 | トヨタ自動車株式会社知的財産部長 |
| 齊藤 博 | 専修大学教授 |
| 竹田 稔 | 弁護士 |
| 田中 信義 | キャノン株式会社常務取締役 |
| 中島 淳 | 弁理士 |
| 野間口 有 | 三菱電機株式会社専務取締役 |
| 廣瀬 全孝 | 産業技術総合研究所次世代半導体研究センター長 |
| 藤野 政彦 | 武田薬品工業株式会社取締役会長 |
| 松重 和美 | 京都大学教授 |
| 山本 貴史 | 株式会社先端科学技術イノベーションセンター 代表取締役社長 |